



こんにちは!
日本共産党の

小山ゆりえです

小児医療センター

患者の現状を調査・理解して!

患者家族への説明会が開かれる

2月11日に県立小児医療センター移転問題について患者家族の方への説明会が行われました。

それに先立ち、蓮田駅西口で集会を開き、「小児医療センターの存続を!」と、沿道から手を振って激励をしてくれる多数の方々の励ましをうけながら小児医療センターまで行進が行われました。

説明会では予め「小児医療センター存続を求める家族の会」から



【当日午前、蓮田駅東口より小児医療センターまで80名近くが参加し、移転に抗議するデモが行われた】

「普通の子ども病院が移転するのではなく重篤な患者、重度障害児の病院であることを県はなぜもっと調査・理解しようとしないので

か?現状を少しでもご存知ならばこの計画がとても危険で無謀なものとなる」といった意見や質問が17項目にわたり提出されており、それに応えた後に、会場から質問・意見が出されました。

「緑豊かで環境のよい、渋滞の心配がない。こんな好条件の所を何故移転しなければならないのか」

「小児医療センターがあるから蓮田に引っ越ししてきたのに」など、何としても現在地に残してほしいとお母さん達の熱い思いが伝わって来ました。

県はこうした家族の思い、現状をきちんと把握して移転計画を見直すことが必要です。

「家族の会」として存続を求める署名を開始しているので、みなさんもぜひご協力をお願いします。

「後援会総会&新春のつどい」が開かれました

1月29日(日)午後、見沼自治会館で日本共産党蓮田市後援会の総会が行われた後、党市委員会と共催の「新春のつどい」が開かれ、38名が参加されました。

これまでは、一人ひとりの自己紹介が中心でしたが、今回は新しく参加された方が簡単に紹介され、あとは三線(さんしん)の演奏や、腹話術、どどいつの披露、最後はアコーディオンの伴奏による参加者全員の合唱と、今までの「新春のつどい」とは一味違った、文化豊かな内容でした。



三線を演奏する椿山の仲間さん

日本共産党衆議院埼玉13区の予定候補に決定した並木としえさんが、蓮田市の「新春のつどい」に参加され、熱い決意を述べられました。

並木さんは元春日部市議として活躍されていた方です。



私毛

蓮田・福島県人会

に入っています

蓮田・福島県人会(泉川佐会長)の懇親会が、2月4日に開かれ、私も出席しました。

同会は、昨年10月9日に設立されました。

東日本大震災と原発事故の放射能被害に苦しむ郷土を支援しようと立ち上がったもので、会則には、会員相互の親睦とともに被災地の復興支援が掲げられています。

私は福島県矢吹町の生まれなので、よびかけのポスターを見て参加しました。総会には福島から蓮田市に避難してきている何組かの家族も出席して痛切な思いを語り、司会者が絶句する一幕もありました。

10月23日には「やさしきいきいきフェスティバル」にブースを出し、風評被害に苦しむ地元を支援する趣旨で福島県産品の販売をおこない、幸い完売することができました。

懇親会には31人が参加。高橋竹山師の孫弟子にあたり、いまは復興支援コンサートで全国を飛び回っている津軽三味線奏者・山本竹勇さん



(県人会員で椿山在住)が福島県などの民謡を特別演奏、カラオケタイムでは「白虎隊」や「会津磐梯山」なども飛び出し、郷土色豊かな会合となりました。最後に3月11日に県人会として復興支援の募金活動を蓮田駅前でおこなうことを確認して散会しました。

会員は現在85人です。お知り合いに福島県

人がおられる方はぜひご紹介ください。

諸根善昭

(椿山1丁目・電話769-4587)

わたしのホットにゆうす



江ヶ崎・みずほ団地在住の太田和一郎さん(71才)は、「あすなろ」という手書きのミニコミ紙(A4判表面のみ)を発行しています。原紙をコンビニでコピーし、主に団地の中で毎回10部ほどを無料で届けているそうです。

内容は飲み会のこと、旅行のこと、写真でも青年の様に輝いて見えます。金子記



【上から1号、2000号、3000号、3200号】

日本共産党

市政報告会

のお知らせ

- 日時；4月1日(日) 午後2時～4時
- 場所；蓮田市図書館 2F 視聴覚ホール

(入場は無料です)